

「サジェストペディア」新学習法について

早くて実用的な学習法

「サジェストペディア」新学習法とは何ですか？

「サジェストペディア」は、「サジェスチョン」と「ペダゴジー（教育学）」による合成語です。ラテン語の「suggerire」、あるいは英語の「to suggest」に由来するこの「サジェスチョン」には提示する、暗示すると言った意味があります。この言葉は、「サジェストペディア」の教授および学習法の根本理念であり、早く学ぶための組織化された提示や暗示です。このサジェストペディア学習法は、以下三点の基本原理に根ざしています。

1. より早く完璧な学習を容易にするために、創造的な右脳と論理的な左脳の双方を、意識・無意識的に活性化させるエラボレーションの重要性。（通常、授業では脳の約4%しか使用されていません！）
2. より自然なコミュニケーションのための学習者と教師の良い信頼関係。
3. リラックスし、くつろいだ雰囲気による学習者の心理的障壁や恐れを除去。

授業はどのように行われるのですか？

どの授業も15～20分程度のコンサートセッションで区切られています。教師は、学習・アクティビティ・リラックスをバランスよく交互に配置します。そして、学習者の興味を引き出すために、独創的にテキストを紹介し、楽しくアクティビティやゲームを行い、音楽も使用します。また、学習者がくつろぎ、自信を持って落ち着いた状態にいられるよう絶えず注意を払い、肯定的な言葉で励まし、モチベーションを高めます。

「サジェストペディア」新学習法によるイタリア語コースとは？

このコースは主として4つのコンサートセッションに分かれます。

1. プレゼンテーション：教師は授業で扱うテキストの登場人物と内容をあらかじめ紹介します。最初は、独特のイントネーションをつけて演劇調にテキストを読み上げます。プレゼンテーションに特徴があればあるほど、学習者の記憶によく定着するからです。
2. 読み上げられたテキストについては、内容や特に新しい語彙を補足しながら、アクティビティを通して、総合的に学びます。学習者には、新しい内容に着目するよう、テキストを演じてもらいます。
3. バックグラウンドに音楽を流し、教師は先ほどのテキストを読み上げ、学習者はそれを聞きます。このコンサートセッションは「パッシブコンサート」と呼ばれ、生徒は自律訓練法や音楽を通してリラックスするようになります。学習者は、教師が学習者をリラックスさせてこのテキストを繰り返して読み上げるのをじっと聴き入ります。
4. 四番目のコンサートセッションが最も長くなります。ゲーム、ロールプレイ他のさまざまなアクティビティを楽しみながら、テキストの文法、語彙、文化的内容が自然に学習されて、定着します。アクティビティには、グループやペア、着席やアクション等のヴァリエーションがあります。

どうして音楽が必要なのですか？

音楽は、テキストが普通に、または強調して演劇的に朗読される時のバックグラウンドとして、リラックスを促すために使用されます。これは、この学習法の創始者、ブルガリアの精神科医・精神療法士ゲオルギー・ロザノフが、彼の妻で同僚のガテヴァとともに、リラックスしていると、音楽によって記憶能力が著しく高まると気づいたことに基づきます。

どうしてサジェストペディアの教室は、カラフルで花や心地よいイスがあるのですか？

語学学習は複数の感覚器官を駆使して行われます。よりリアルな疑似体験にはあらゆる感覚を働かせることが重要です。さらに、花や心地よいイスは、教室を冷たく素気ないものから、学習者が心からくつろぎ、リラックスし、多くの心理的障害が取り除かれる、まさしく家の部屋にしてくれます。

学習とリラックスにはどんな関係があるのでしょうか？

ストレスがあると学習機能は低下します。生理学的にも、ストレスがかかると血圧は上昇し、ニューロンとシナプスの情報伝達がブロックされて、学習に好ましくない影響が現れます。このため、記憶された情報の呼び出しが妨げられます。

逆にリラックスしていると、記憶力は著しく高まります。

ジェスチャーが重要って本当ですか？

もちろんです！語学の学習は、ジェスチャー、表情、身のこなしを学ぶということなのです。それだけではなく、ノンバーバル（ジェスチャー、表情、身のこなしを伴った）・コミュニケーションによって、私たちの学習や記憶が容易になることが証明されています。たとえば、通常のコミュニケーションではその内のわずか7%の言葉しか記憶されません。ところが、私たちの脳は、ジェスチャーや身のこなしを伴った場合はその **55%**を、はっきりとした大きな声では **38%**を記憶しているのです。